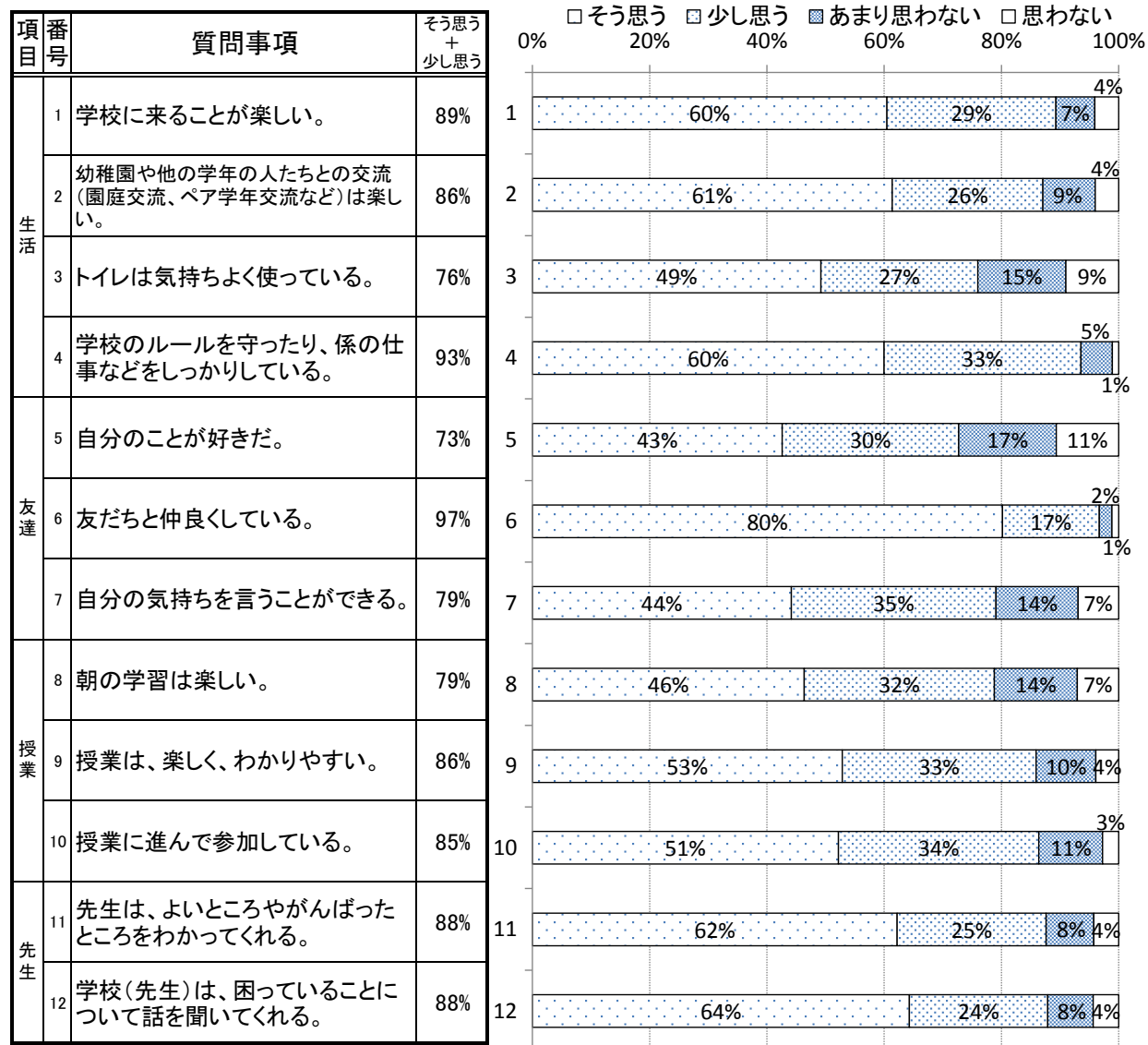


# 学校教育アンケート 集計結果

## 児童

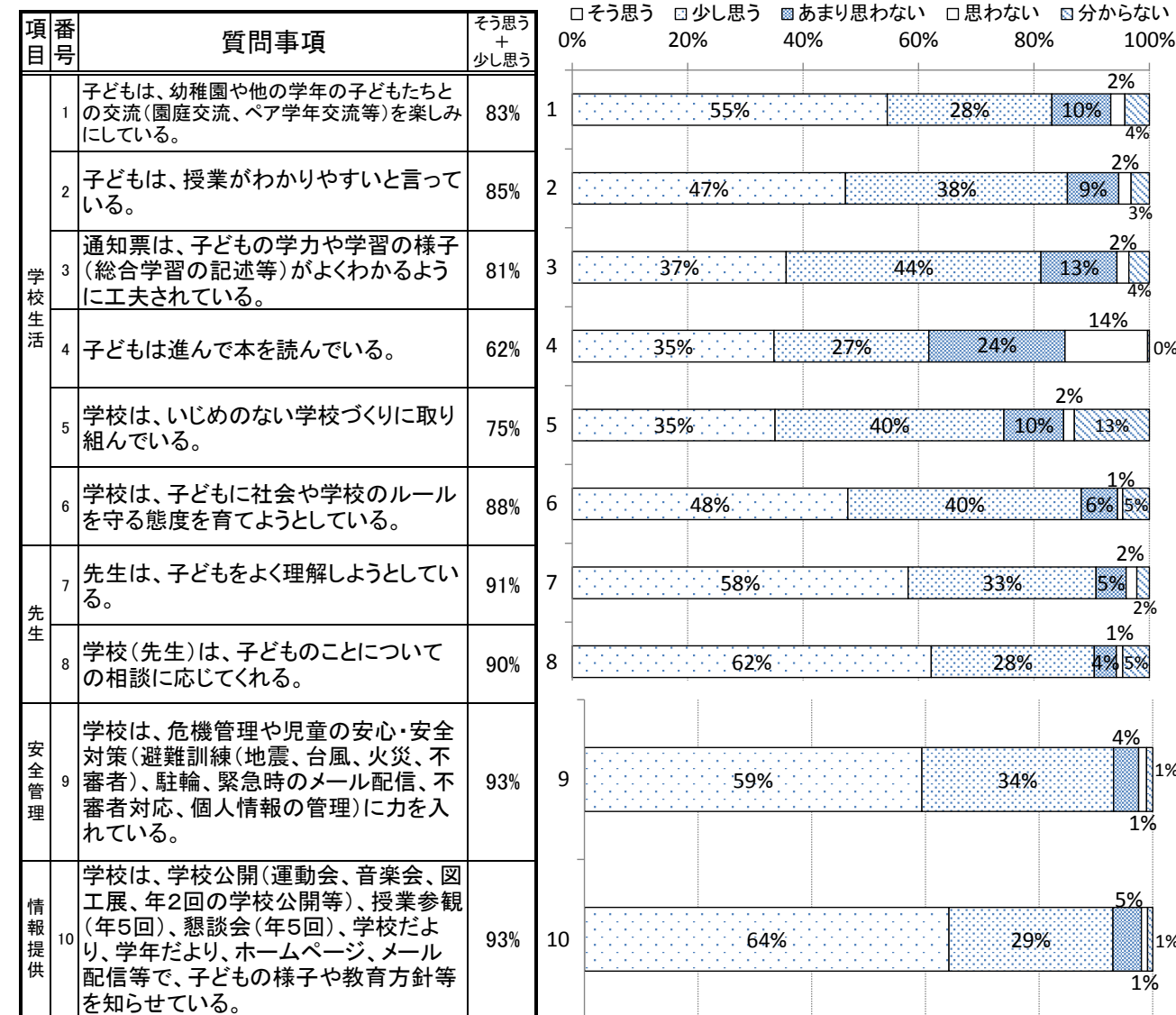


### 【総評】

数値的には、昨年度と比較いたしますと1~3%変化している項目が多かったです。(1)「学校に来ることが楽しい。」(10)「授業に進んで参加している。」の項目は、昨年度と同数値でした。ただ、(2)「幼稚園や他の学年との交流はたのしい。」(3)「トイレは気持ちよく使っている。」は、昨年度より3ポイント下がっており、異学年交流や環境美化に注力する必要があります。さらに、(11)「先生は、よいところやがんばったことをわかってくれる。」が、88%で昨年度より3ポイント下がっていました。

その他の項目は、すべて昨年度より、上昇していました。今後は、子どもにとって楽しくわかりやすい授業や、ほめることで自尊感情を高めることを心がけるとともに、さらに児童に丁寧に寄り添うことで、子どもたちとの信頼関係を強固なものにしてまいります。そして、全ての児童が「学校に来るのが楽しい。」と思える学校を目指してまいります。

## 保護者



### 【総評】

数値を昨年度と比較し、同様が3項目あるものの、その他の項目がわずかながら下がってしまいました。中でも(1)「子どもは幼稚園や他の学年の子どもたちとの交流を楽しみにしている。」が83%で、4ポイント下がっており、取り組みの内容や時期について工夫を重ねてまいりたいと考えています。

また、昨年度、数値的に上昇していた(6)「学校は、子どもに社会や学校のルールを守る態度を育てようとしている。」の項目は90%から88%に下がってしまいましたが、(7)「先生は、子どもをよく理解している。」(91%)、(8)「学校(先生)は子どものことについての相談に応じてくれる。」(90%)、これらの項目は、それぞれ昨年度同様の水準を保つことができました。

一方で、(5)「学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。」の項目は、75%(昨年度より1ポイント下降)と評価が低い結果となりました。今年度も、子どもたちの様子を把握する一つの手段として、「心のアンケート」を学期に1回実施し、子どもたちの実態把握に努めましたが、今後は、さらに教職員が、高いアンテナで日常的に児童観察をしっかり行い、担任はもとより、保護者の方とも連携を図りつつ学校体制で組織的に、「いじめのない学校」を目指してまいります。さらに、学校ブログの活用等、学校情報の発信に努め、保護者や地域の方と協働の関係で「開かれた学校」への歩みを進めたいと考えております。